

復興まちづくり計画（惣領地区）

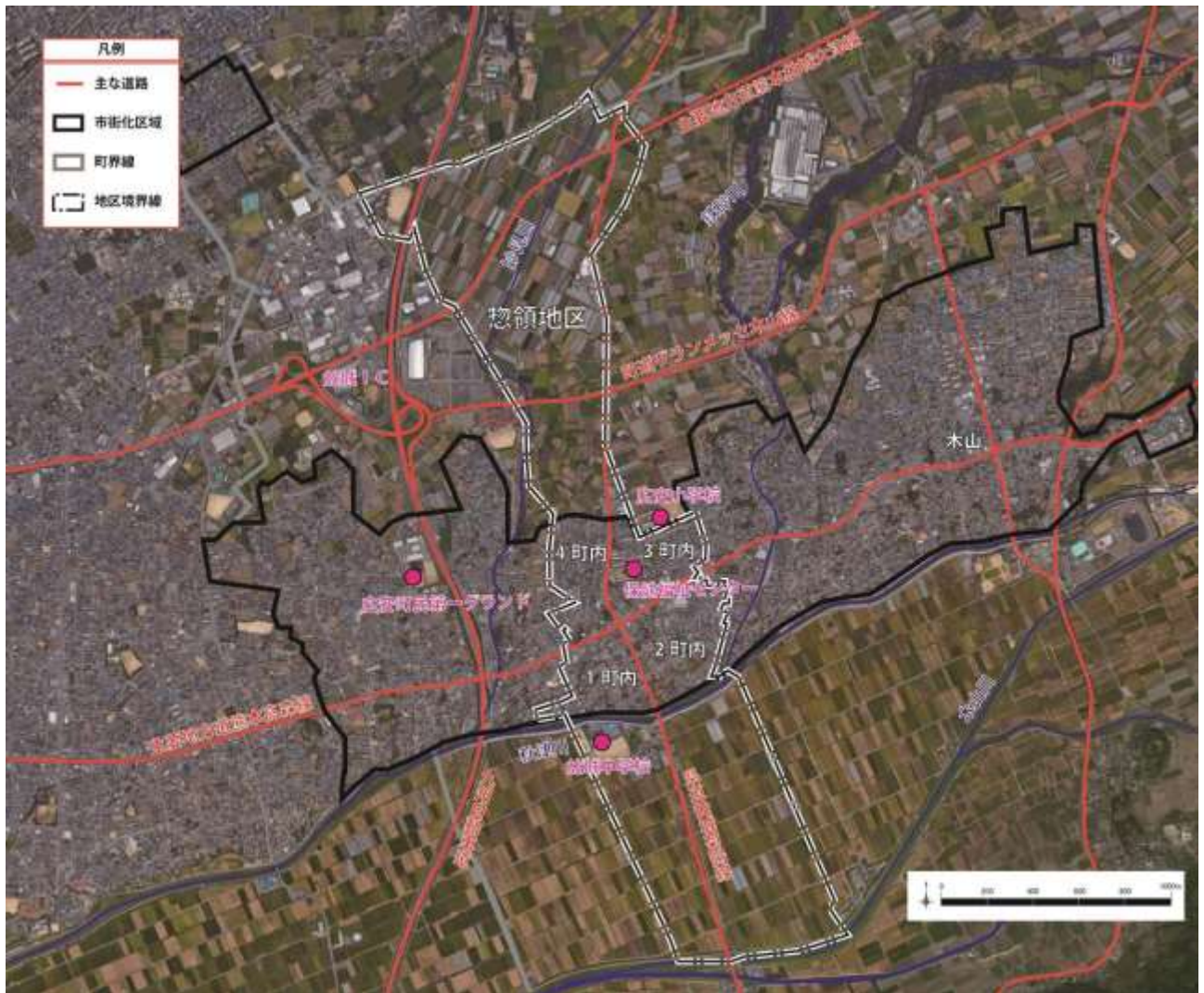
1. 地区の概要

(1) 位置・人口等

■位置

惣領地区は、町中央の西部に位置し、南端に秋津川が流れ、地区の中心を東西に主要地方道熊本高森線、南北に県道益城菊陽線が通り、沿道を中心に市街地が形成されています。

主要地方道熊本高森線から南側に惣領1町内と2町内、北側に3町内と4町内の4つの町内で構成されています。



■人口等

平成29年3月末の住民基本台帳によると、惣領地区の人口は3,382人で、世帯数は1,343世帯となっています。

震災直前、平成28年3月末と比較すると、人口は330人、約1割減少しており、大きな被害を受けた惣領1町内と2町内での減少が著しく、それぞれ102人、148人、約13%の減少となっています。

表 惣領地区の人口

	人口 (平成 29 年 3 月末)	世帯数 (平成 29 年 3 月末)	人口増減 (平成 29 年／28 年)
惣領 1 町内	697 人	275 世帯	△102 人 (87.2%)
惣領 2 町内	1,043 人	414 世帯	△148 人 (87.6%)
惣領 3 町内	927 人	375 世帯	△52 人 (94.7%)
惣領 4 町内	715 人	279 世帯	△28 人 (96.2%)
計	3,382 人	1,343 世帯	△330 人 (91.1%)

(2) 被害状況

罹災証明による家屋の被災状況によると、惣領地区全体では、全壊が 317 棟 (29%)、大規模半壊が 72 棟 (6%)、半壊が 207 棟 (19%) で、半数以上の家屋が被災しました。

特に、全壊の家屋は、惣領 1 町内で 106 棟 (48%)、惣領 2 町内で 110 棟 (37%) と、半数近くの家屋が全壊し、主要地方道熊本高森線の南側で大きな被害を受けました。

表 2 被災家屋数 (罹災証明より)

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	被害なし
惣領 1 町内	106 棟 (48%)	14 棟 (6%)	42 棟 (19%)	52 棟 (24%)	6 棟 (3%)
惣領 2 町内	110 棟 (37%)	22 棟 (7%)	66 棟 (22%)	97 棟 (33%)	2 棟 (1%)
惣領 3 町内	54 棟 (19%)	25 棟 (9%)	66 棟 (23%)	145 棟 (50%)	1 棟 (0%)
惣領 4 町内	47 棟 (13%)	11 棟 (3%)	83 棟 (24%)	207 棟 (59%)	5 棟 (1%)
計	317 棟 (29%)	72 棟 (6%)	207 棟 (19%)	501 棟 (45%)	14 棟 (1%)

(3) 地区の課題

- ・平成 28 年熊本地震の影響により、人口が約 13%減少した。
- ・旧集落を中心に小規模な住宅地開発により形成されたこともあり、幅員 4 m未満の狭い道路が多く、緊急車両の進入や車両の離合が困難である。

2. 地区の基本方針

地震からの復旧復興は住民の大きな願いであり、惣領地区の住民が一体となり、町と協働して災害に強く、明るく住みやすいまちづくりを進めていくことが求められます。

特に、次世代を担う子ども達が元気で安全に過ごせ、惣領に住んでいて良かったと思えるよう、「子ども達につなごう みんなが仲良く元気な惣領」を目指してまちづくりを進めます。

まちづくりの目標
「子ども達につなごう みんなが仲良く元気な惣領」

3. 避難路・避難地の計画

<避難路>

避難路については、主要地方道熊本高森線及び県道益城菊陽線に接続する道路を、避難しやすく、かつ緊急車両の通行などもしやすくなるように拡幅整備します。

<避難地>

避難地については、惣領 1 町内に整備する避難路に面する位置に、災害時の一時避難場所を整備します。

表 避難路・避難地の整備の概要

路線名等	整備内容	拡幅等	整備の内訳			概算
			延長	幅員	面積	事業費
			(m)	(m)	(㎡)	(千円)
A 町道東惣領線、町道東惣領支線	地区公共施設(避難路)	拡幅	480.0	6.0		189,559
B 町有道路	地区公共施設(避難路)	拡幅	160.0	6.0		63,186
C 町有道路、町道福富惣領線(一部)、町道惣領南線、町道惣領南支線	地区公共施設(避難路)	拡幅	440.0	6.0		173,762
D 一時避難場所	地区公共施設(避難地)	新規			1,100	72,100

惣領地区

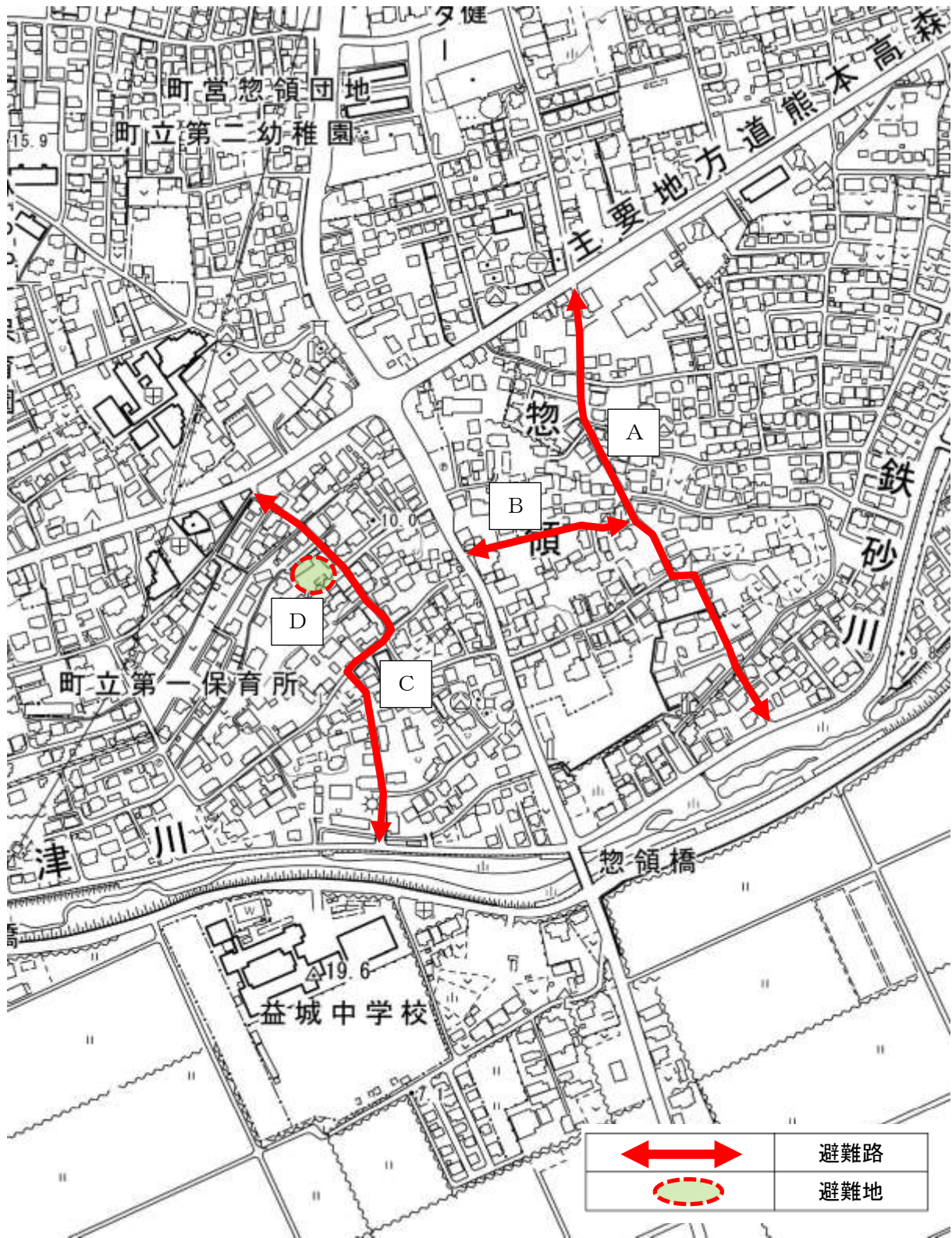


図 避難路・避難地計画図